

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成28年9月】

■調査概要 (データ対象期間: 平成28年9月1日～9月30日)

○調査期間: 平成28年10月3日～10月21日

○調査対象: 市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況: 建設業21企業、製造業23企業、卸売業13企業、小売業34企業

飲食業16企業、サービス44企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計151企業>

○調査項目: 9月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヶ月の業況見通し (DI値を集計)

(注) DI (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIとともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲6.6）よりマイナス幅が17.2ポイント拡大し、▲23.8となった。業種別では、卸売業はマイナス幅が縮小した。建設業、製造業、小売業、サービス業、飲食業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲10.6）よりマイナス幅が20.5ポイント拡大し、▲31.1となった。業種別では、卸売業はマイナス幅が縮小した。建設業は0からマイナスとなった。サービス業、製造業、小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

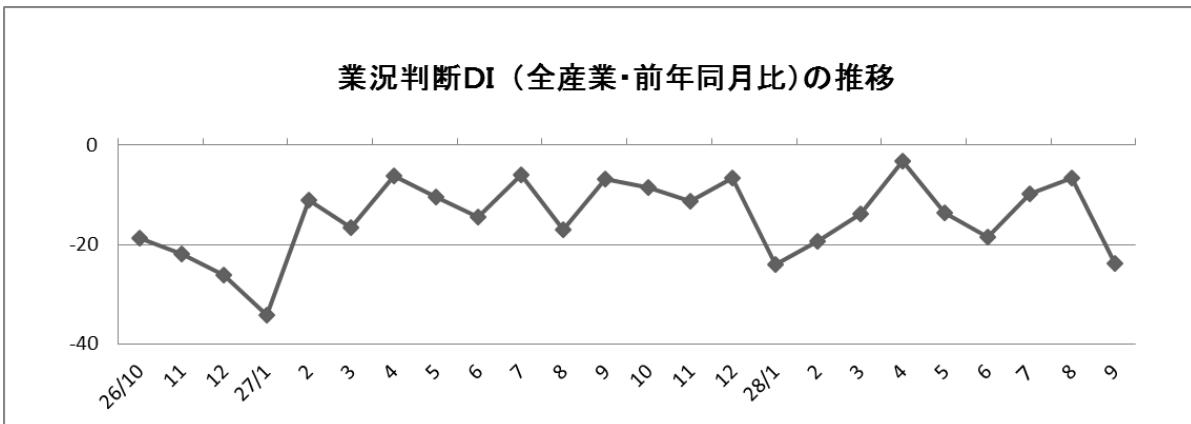
業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不变%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	6.0 (12.7)	64.2 (68.0)	29.8 (19.3)	▲ 23.8 (▲ 6.6)	6.6 (12.7)	55.7 (64.0)	37.7 (23.3)	▲ 31.1 (▲ 10.6)
建設業	4.8 (4.8)	66.6 (71.4)	28.6 (23.8)	▲ 23.8 (▲ 19.0)	0.0 (14.3)	71.4 (71.4)	28.6 (14.3)	▲ 28.6 (0.0)
製造業	13.0 (10.0)	56.6 (70.0)	30.4 (20.0)	▲ 17.4 (▲ 10.0)	17.4 (15.0)	43.5 (65.0)	39.1 (20.0)	▲ 21.7 (▲ 5.0)
卸売業	0.0 (14.3)	84.6 (50.0)	15.4 (35.7)	▲ 15.4 (▲ 21.4)	7.7 (7.1)	61.5 (50.0)	30.8 (42.9)	▲ 23.1 (▲ 35.8)
小売業	5.9 (9.1)	61.7 (75.7)	32.4 (15.2)	▲ 26.5 (▲ 6.1)	5.9 (6.1)	44.1 (69.7)	50.0 (24.2)	▲ 44.1 (▲ 18.1)
飲食業	6.3 (16.7)	49.9 (61.1)	43.8 (22.2)	▲ 37.5 (▲ 5.5)	0.0 (27.8)	50.0 (55.5)	50.0 (16.7)	▲ 50.0 (11.1)
サービス業	4.5 (18.2)	68.2 (68.2)	27.3 (13.6)	▲ 22.8 (4.6)	6.8 (11.4)	63.7 (63.6)	29.5 (25.0)	▲ 22.7 (▲ 13.6)

()内は前月データ

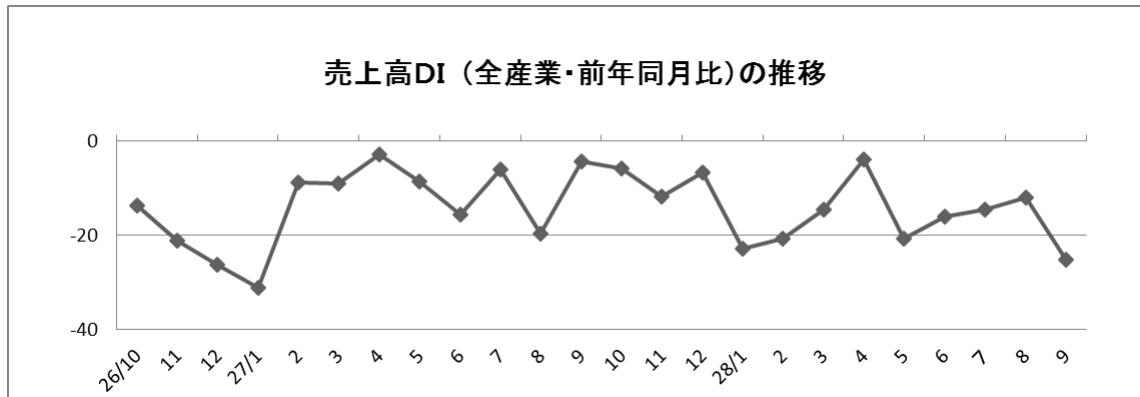
※ 「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

業況判断DI（全産業・前年同月比）の推移



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲12.0）よりマイナス幅が13.1ポイント拡大し、▲25.1となった。業種別に見ると、卸売業はマイナス幅が縮小した。建設業、小売業、サービス業、製造業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

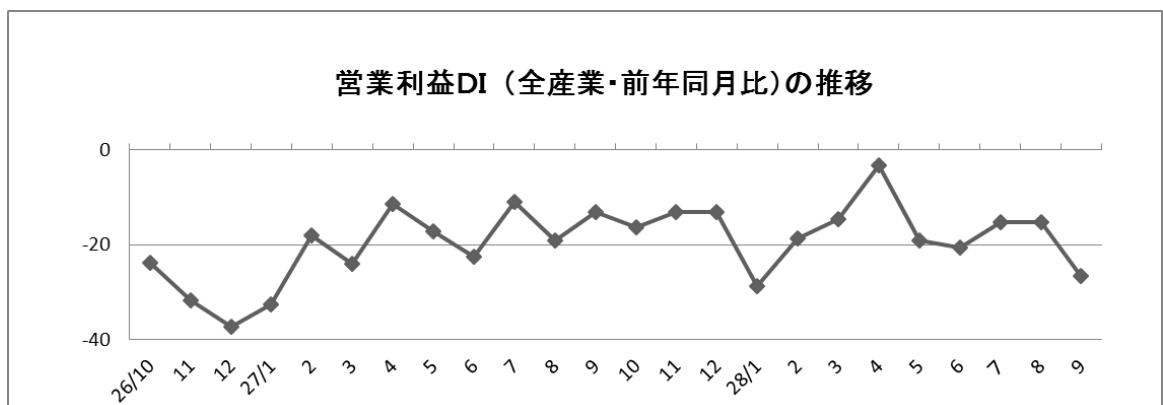


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	▲ 4.4	▲ 5.8	▲ 11.8	▲ 6.6	▲ 22.7	▲ 20.7	▲ 14.5	▲ 3.9	▲ 20.6	▲ 16.0	▲ 14.6	▲ 12.0	▲ 25.1
建 設 業	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6
製 造 業	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 26.1
卸 売 業	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4
小 売 業	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7	▲ 34.3	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4
飲 食 業	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7
サービス業	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 25.0

3. 営業利益DI（前年同月比）

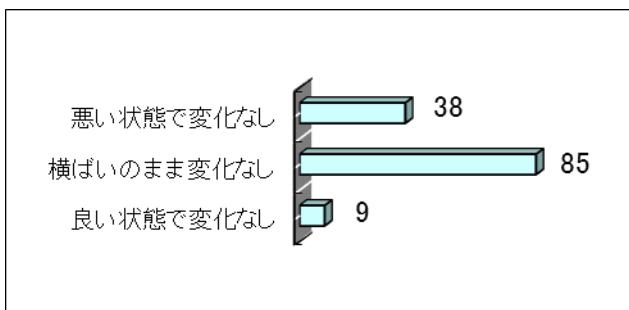
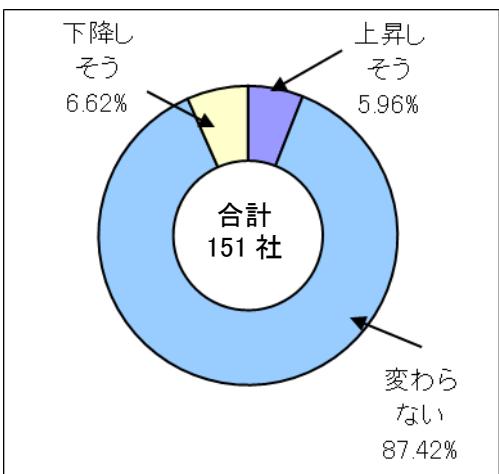
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲15.3）よりマイナス幅が11.2ポイント拡大し、▲26.5となった。業種別に見ると、サービス業は横ばいとなった。卸売業、建設業、小売業、製造業、飲食業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	▲ 13.2	▲ 16.3	▲ 13.1	▲ 13.2	▲ 28.7	▲ 18.7	▲ 14.5	▲ 3.2	▲ 19.2	▲ 20.7	▲ 15.2	▲ 15.3	▲ 26.5
建 設 業	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8
製 造 業	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.0	▲ 30.5
卸 売 業	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1
小 売 業	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3	▲ 34.4	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4
飲 食 業	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0
サービス業	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0	▲ 15.9	▲ 15.9

◆ 向こう3ヶ月の見通し ◆



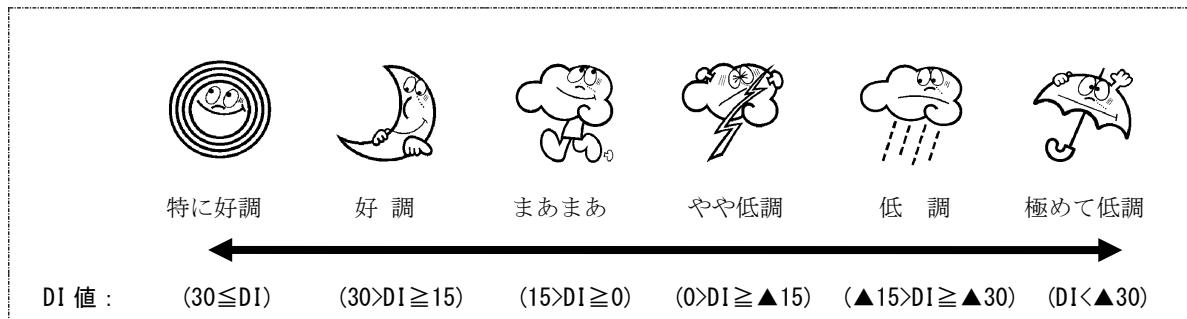
○平成28年10月～平成28年12月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.96ポイント増加し5.96%、「下降しそう」が0.71ポイント減少し6.62%となった。業種別の見通しDIは建設業(9.5)、製造業(▲8.7)、卸売業(▲7.7)、小売業(▲5.9)、飲食業(▲12.5)、サービス業(9.1)であった。

→「上昇しそう」では、「9月が悪すぎたのでこれ以上の底はないと考えているため」「上半期低調気味だったので、下半期に挽回したいため」(建設業)、「毎年物流部品が増加する時期のため」(製造業)、「10月、11月は横ばい、12月は忘年会シーズンでよくなりそうなため」「10月は天候がよくなりそうなため」「10月、11月秋の観光、周年記念、婚礼シーズン、12月忘年会があるため」「仕掛け中のプロジェクトに関して納期を迎えるため」「10月、11月とも予約の先行は良好なため」「秋の研修が入ってくるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

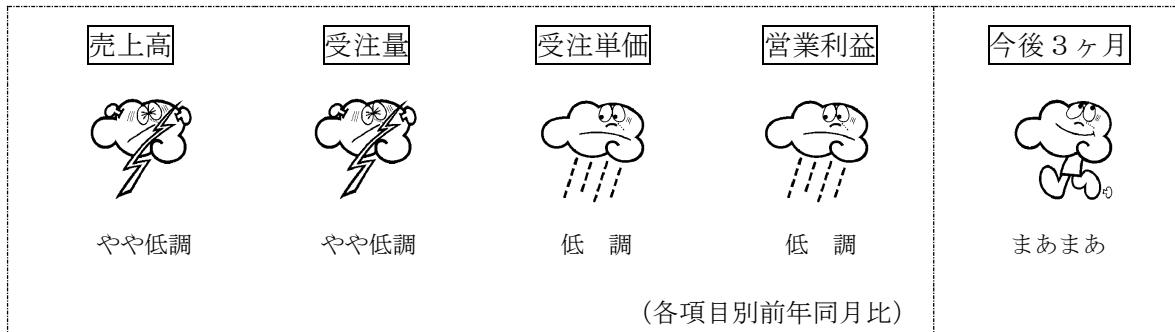
→「下降しそう」では、「受注件数が若干増加しても受注単価は下降に近い横ばい状態のため」「国の9月補正の影響があまりなさそうなため」(建設業)、「閑散期のため」(小売業)、「観光シーズンが終わるため」「今年はほとんどの月が前年割れしているため」「9月が悪すぎたため」(飲食業)、「冬季に向かい、寒いと休む人が増え、利用減につながるため」「求職者支援訓練応募者数低迷のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6
受注量	▲ 54.2	▲ 16.0	▲ 29.2	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 16.7	▲ 16.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 38.1	▲ 4.7
受注単価	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 8.3	4.4	▲ 19.0	▲ 23.8
営業利益	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8
見通し	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.7	▲ 4.0	▲ 12.0	8.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	12.5	4.3	▲ 4.8	9.5

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

- ・年度当初は東京オリンピックに向けて建設業は活況になると想っていたが、今一つ盛り上がりに欠ける感じがある。今後も同様な状況で推移するのではないかと感じるようになった。長期的にみると、イベントの後は落ち込みが来ると考えられるので、急激な活況と落ち込みに比べれば、ある意味望ましい状況なのかもしれない。
- ・各社で若干のばらつきがみられるが、概ね年内の仕事は確保している。

土木工事

- ・大型プロジェクトは殆ど見込みなし。(仮称)イオンモール東松本の建設(建築)も本当は地元業者が少しあは参入して欲しかった。

電気工事

- ・受注物件がほとんどない状態が続いている。人件費の支払いに苦労している。

建築工事

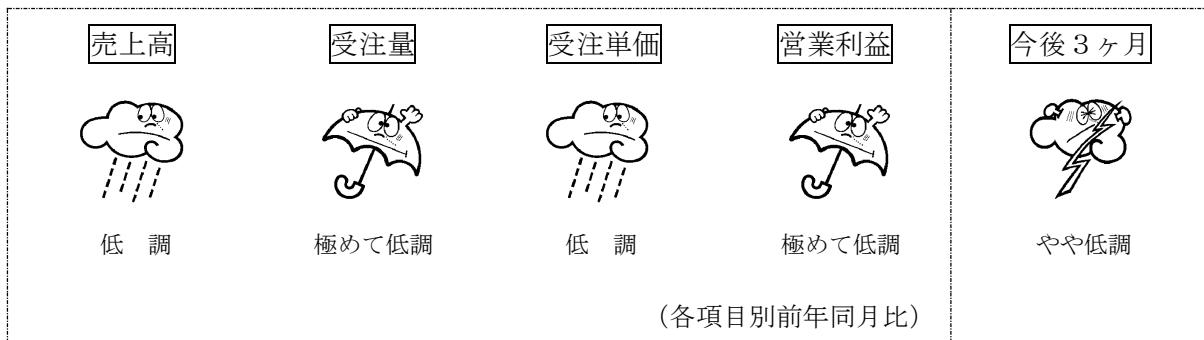
- ・公共の入札が一気に公開されても、この入札に人材確保が追いつかないために入札を断念する状況がみられる。

- ・予算が消費税込となるので厳しい。

総合建設

- ・県・市町村の大型公共事業の発注は概ね済み、残るは単独工事だけである。

2. 製造業



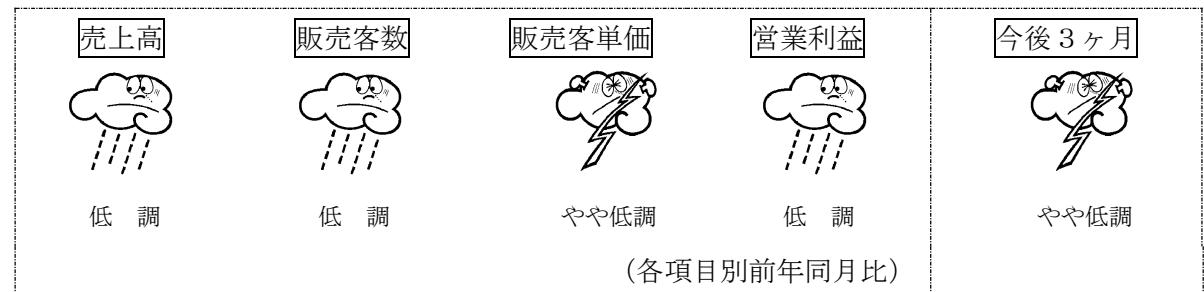
【項目別DIの推移】

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 26.1
受注量	4.2	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 12.5	▲ 19.1	▲ 4.8	▲ 4.4	▲ 28.6	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 39.1
受注単価	▲ 8.4	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 21.1	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 28.5	▲ 17.4	▲ 14.2	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 26.1
営業利益	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 5.0	▲ 30.5
見通し	▲ 4.2	▲ 10.0	5.0	▲ 15.8	4.2	14.3	▲ 33.3	8.7	4.7	▲ 5.0	10.0	▲ 10.0	▲ 8.7

＜経営者の目・見方・e t c＞

- | | |
|----------|---|
| 紙器 | ・多品種、小ロットにより、製造時間を圧迫している。 |
| 小型情報機器組立 | ・円相場の動き次第で変化があり、先が見えない。 |
| 漬物・味噌 | ・天候不順の為、野菜全般が高値。今後このまま不作が続くと益々苦境に陥ることが予想される。 |
| 金属塗装 | ・円高、中国の低迷等輸出関連の親企業に元気がなく、受注が低迷している。 |
| 豆腐 | ・昨年が良すぎた。元に戻った感じである。 |
| 酒類 | ・ひやおろしが解禁になり、秋らしい商品の動きが活発になった。純米酒需要は相変わらず伸びている。全体量としては前年を大きく上回るまでには至っていないが、微増で推移している。松本及び周辺は外国人観光客に大変人気である。雨が多かったために観光地、特に上高地の入場者は少ない印象である。 |

3. 卸売業



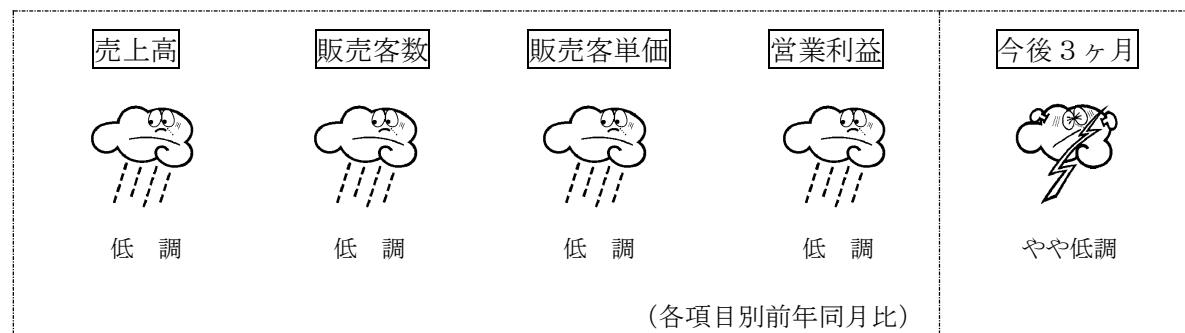
【項目別DIの推移】

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4
販売客数	▲ 17.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 35.7	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 14.3	▲ 15.4
販売客単価	0.0	▲ 6.6	▲ 25.0	▲ 21.5	▲ 42.9	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 7.7
営業利益	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1
見通し	5.9	6.7	▲ 12.5	▲ 21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	8.3	▲ 7.1	0.0	7.1	▲ 7.7

＜経営者の目・見方・e t c＞

- | | |
|------|---|
| 土産品 | ・3連休もあり期待していたが、昨年のシルバーウィークと比較すると悪い状況。消費増税低迷を実感している。 |
| 青果 | ・台風の上陸による雨、風の影響などニュースでも多々報道されたが、実際はごく限られたものであった。豊洲の市場移転問題も、どうにもならず呆れ顔。下旬からの長雨、雨天の影響が10月に入ってから続く見込み。 |
| 機械工具 | ・良い話はない。過当競争で利益が出ない。消費税の8%は痛い。 |
| 金属製品 | ・(仮称)イオンモール東松本は本格的に着工し、基礎工事から始まっている。その他地元大型案件は少ない状況で、年度末までの繁忙期に向け期待したほどではない。 |

4. 小売業



【項目別DIの推移】

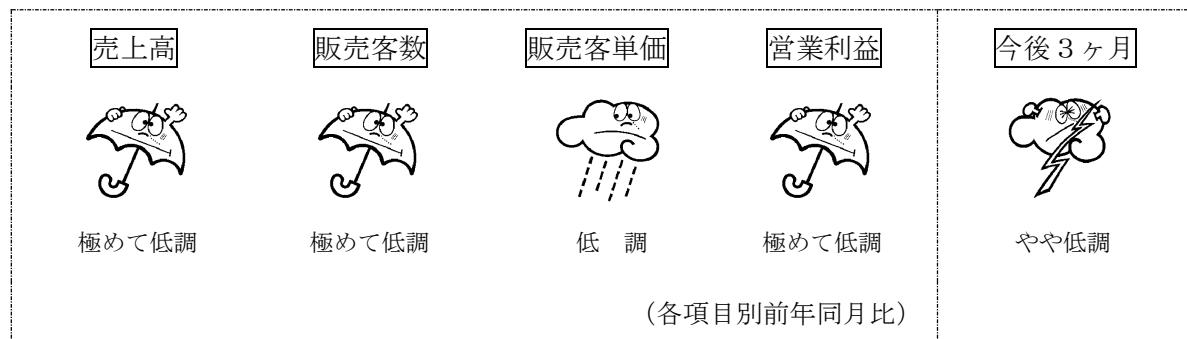
	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7	▲ 34.3	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4
販売客数	▲ 27.2	▲ 18.2	▲ 11.2	▲ 9.4	▲ 43.7	▲ 37.5	▲ 24.2	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 24.2	▲ 11.8	▲ 6.1	▲ 29.4
販売客単価	▲ 12.1	▲ 27.2	▲ 22.2	▲ 15.7	▲ 15.7	▲ 37.5	▲ 9.1	0.0	▲ 22.8	▲ 18.1	▲ 17.7	▲ 12.1	▲ 23.6
営業利益	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3	▲ 34.4	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4
見通し	0.0	▲ 15.2	▲ 2.8	0.0	▲ 3.1	0.0	6.1	2.9	▲ 2.8	0.0	▲ 2.9	▲ 6.1	▲ 5.9

＜経営者の目・見方・e t c＞

- | | |
|-----------|--|
| 印章 | ・(仮称)イオンモール東松本の概要が発表された。同業者や同一商店取扱いのお店がテナントで入ると思われるが、それに対抗できるよう、自店の価値を高めていきたい。 |
| 味噌・つけもの | ・雨の日が多く客足も鈍い。 |
| 書籍・木のおもちゃ | ・台風による天候の影響で野菜の価格が高い。 |
| 観光物産 | ・個人消費がなかなか伸びていかないで、相変わらず厳しい状態が続いている。年末セールに向けて、今から工夫をしていきたい。 |
| 化粧品 | ・団体客数、一般のお客様数が減り、1ヶ月の売上は最悪の状態となった。納品業者に他社の傾向を聞いても、軒並みダウンとの返事があった。松茸ではカバーできない。 |
| | ・台風など天候の影響で来店客数が少なかったが、連休中の観光客は多かった。 |

自動車	・キャンペーンも終わり、お客様の来店も若干寂しくなってきた。
ショッピングセンター	・9月は天候の不順(台風、雨)により厳しい月であった。特に衣料品においては秋物の稼働が遅く売上に影響した。業界的にはEC(電子商取引)の拡大に伴い実店舗の売上減少傾向が取りざたされている。確かに衣料品においてはその傾向はあるが、宝飾、アクセサリー、化粧品、飲食、物販などの業種は店舗の特色やコンサルティング力で売上を伸ばしているケースもある。
パン	・周りの動きに左右されすぎず、目の前の目標に向かい前進できた月だった。今後も人材育成に重点を置き、事業に取り組みたい。
食料品	・松茸が豊作。台風の影響で農家の方々の収入が心配。
食品小売	・長雨の影響で、店舗販売の売上が良くなかった。
食品小売	・悪天候が続き、連休中も他県からの来客が少ない。納品先の販売店もほとんど同じ状況。天候が回復して、秋の観光シーズンに期待したい。東京で開催される食の物産展に選ばれたので、売上を伸ばせるよう力を入れて参加したい。
菓子	・天候不順で観光客もいまいち。行楽シーズンに期待したい。
陶磁器	・災害に繋がるような大雨こそなかったが、中旬以降はほとんど日差しがなく、人出は大幅に減少した。キノコの生育が進んだこと以外は商いとして停滞した。
生鮮食品	・9月は敬老の日、お祭りがあり良かった。台風で毎日雨が降っていたが松本は大きな災害が無くありがたい。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売 上 高	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7
販 売 客 数	0.0	0.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 31.2	▲ 46.1	▲ 13.4	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 5.6	▲ 31.2
販売客単価	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 26.7	▲ 11.1	▲ 25.0
営 業 利 益	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0
見 通 し	5.9	0.0	▲ 7.2	▲ 25.0	6.2	15.4	▲ 6.6	0.0	▲ 20.0	7.2	6.6	▲ 16.7	▲ 12.5

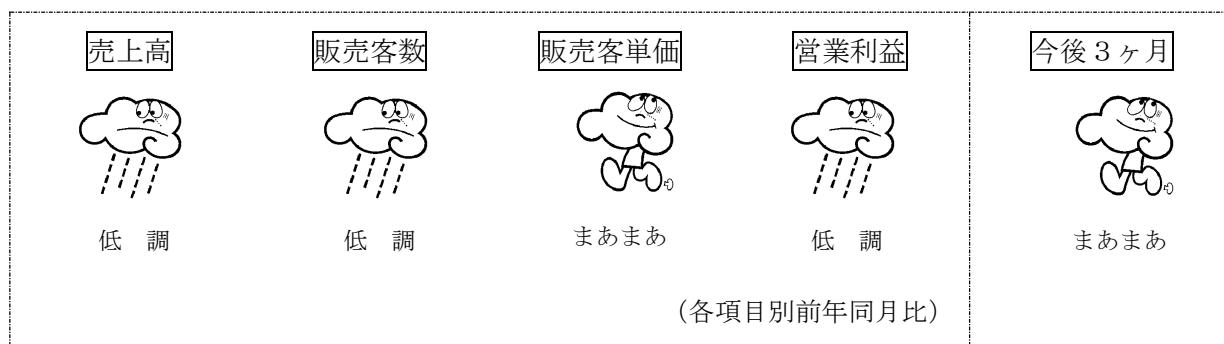
<経営者の目・見方・e t c>

そば

- ・雨続きで暇だった。
- ・9月は週末になると台風、雨の影響で野菜の価格が高騰し良い感じはしなかつた。今後年末にかけて心配である。

- 寿司
- ・9月は昨年に比べて日並びが悪かったことを除いても、全体的に人の動きが鈍かったように感じた。天候不順など様々な要因があると思うが、こういった時にも変わらざる来店いただける常連のお客様の有難さを再認識した月であった。
 - ・何回もの台風が日本列島を襲い、特に北海道は被害にあったので、北海道産のウニは通常の5倍から6倍にまで跳ね上がりとても手の出る状況ではなかった。そのため松本の寿司屋から一時期ウニが消えてしまった。
- 郷土料理
- ・日毎に観光シーズンも落ち着き始めた。大型台風で客足が鈍る日もあったが、安定していた。客単価が下がる傾向を感じる。
- 料理
- ・キノコを始め食材の豊富な時期だが、客単価の低さが気になる。
- 創作料理
- ・どうなっているのだろうと思うくらい客足が遠のいてしまっている。「何か変」というのが感想。忘年会の時期となって行くが、全く期待感なし。営業努力をするべきか考え中である。
- 喫茶
- ・外国人観光客がお城巡りの旅をする中で松本を訪れ、自店に来店された。知らないお店に気楽に入ることが出来るのは、日本の治安の良さが関係しているようだ。外国人観光客が松本に訪れる理由を皆が理解し、さらに良い街になるよう若い人などが積極的に地域づくり参加していって欲しい。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 25.0
販売客数	0.0	8.7	▲ 9.5	2.1	▲ 23.1	▲ 2.3	▲ 6.8	▲ 2.3	▲ 11.7	▲ 15.5	▲ 8.7	▲ 4.5	▲ 22.7
販売客単価	6.8	8.7	▲ 4.7	4.3	▲ 23.0	0.0	▲ 2.2	4.5	9.3	▲ 4.4	▲ 4.4	4.5	0.0
営業利益	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0	▲ 15.9	▲ 15.9
見通し	6.9	2.2	0.0	0.0	2.6	0.0	▲ 2.3	6.7	2.3	2.2	0.0	4.6	9.1

＜経営者の目・見方・e t c＞

温泉旅館

- ・とにかく天候に悩まされた9月だった。台風の発生もさることながら、秋の長雨続き、2日と連続して晴れる日がないなど、この10年で最悪の天気であった。さらに台風で長時間の停電があり大変だった。救いは外国人客が継続してきてくれるところだった。
- ・天候に恵まれ、台風被害も少ない。紅葉の時期に期待。
- ・天気に恵まれずマイナスに繋がるのではないか。秋の観光シーズンに入り、松本市のイベントに期待。

理容	・月平均でみると変化がない。全般的に横ばい傾向にあり爆発力がない。
マッサージ	・シルバーウィークなどの休日に長雨が続いたせいか、旅行等に出かけられず地元で消費する人が多いように感じた。
保険	・業界初の新商品を販売開始した。
ホテル	・長雨・台風の影響によると思われるが、観光の動き、レストランの動きが鈍かった。宴会についてもガイダンスは8月開催に、周年記念などは10月に偏る傾向があり、9月は伸び悩んだ。
ソフトウェア	・本年は前年と違い、シルバーウィークの並びが悪く台風とも相まって客足が鈍かった。9月に限って宴会の客足も鈍かった。
マナー講師	・決算期を迎えるお客様もあり、システムの運営支援に関して通常より忙しかった。基幹系システムの置き換えについては、変わらず県内は下請け構造の末端にいる。提案時にコスト削減の目的で旧システムと変わらない基本構造で進捗する場合もあるが、新しいアーキテクチャを旧式の設計に合わせるほどコストがかさむ(下請けへのしわ寄せ)ことを認識したい。
自動車整備	・秋になり、気持ちを切替えるための研修の依頼がある。節目は大切と考えていたいしていると感じる。
獣医	・企業全般に下半期になり、仕事量も前年並みに忙しさがある。これから冬にかけては休みをつけたいので、例年の客足を確保することが急務である。
タクシー	・チェコプラハでの細胞生理学会で発表してきた。チェコの動物愛護は世界一と言われている。3人に1頭で動物を飼育し、犬は5,000円の税金がかかり、市街地では糞尿の入れ物を設置するなどしている。公共の乗り物や施設は、もちろん自由で、プラハで出逢った犬はとてもおとなしく、犬のインストラクター施設も一番多いといわれている。
機械設計	・天候の悪い日が多く、上高地方面の客入りが少なかったが、客単価が高かったので売上高は前年並みであった。
宿泊	・良い状態が続いている。
専門学校	・予約状況は良かったが、日本近辺に台風が絶えなかったことにより、微減であった。特に天候の関係で登山者が少なく、宿泊以外の部分が苦戦した。
ペットサービス	・インバウンドがますます目立っている。外国人観光客への地域の情報提供が間に合っていないように感じる。
リネンサプライ業	・堅調な雇用情勢が続いているため、手に職をつけて就職活動に臨むための職業訓練受講者数が低迷している。求人数の増加はもとより、求職者数が前年同月比1割以上減少している。結果8月の有効求人倍率は1.44倍となり、売り手市場が続いている。
	・客単価アップにより売上高が前年を上回った。新メニューや物販の売上が好結果であった。
	・天候不順により観光客が減少し、売上が下がった。